

◎市長(山田憲昭君)

市民協働でつくるまちづくり塾につきまして、私のほうからは1点目と4点目をお答えしたいと思います。

まず初めに、まちづくり塾の設立趣旨、塾生の役割及び今後の具体的な活動についてであります。

提案理由でも申し上げましたとおり、市民協働でつくるまちづくりは、第2次白山市総合計画の重点施策の一つとして推進をしまいたいと考えており、本年10月にまちづくり塾を開講いたしました。

このまちづくり塾は、講演会や研修会等を通じて、本市が進める市民協働でつくるまちづくりの趣旨を理解していただき、その上でまちづくり活動に自主的、積極的に参加していただくことを目的として開催をいたしております。

塾生の皆さんには、説明会等でお示しをする市の方向性や新しい地域コミュニティ組織の必要性などに理解を深めていただくとともに、制度設計についても御意見をいただき、反映させてまいりたいと考えており、いわゆる地域サポーターをお願いしたいというふうに考えております。

今後につきましては、年明け1月から3月にかけて松任地域で2回、美川、鶴来、白山ろく地域で各1回の計5回を予定いたしております。

来年度におきましても、学識経験者の講習やワークショップなどを通して、まちづくりの魅力やその手法、市の方針についても引き続きお知らせをしまいたいと思っております。

なお、どの地区で何回開催するかにつきましては、調整中でありますので、なるべく早い時期に開催日程を決定いたしたいというふうに考えております。

次に、4番目の質問でありますけれども、取り組みの達成年度をどう見据えているのかについてお答えします。

地域の皆様の御意向を広くお聞きし、反映させながら、制度構築の議論を重ねるとともに、新しい地域コミュニティ組織のモデル的な取り組みを通して、市民協働による個性ある地域づくりが実現できるよう新年度において新しい地域コミュニティ組織の設立準備を行い、2020年度のモデル地区の立ち上げを目指しております。

その後は、その検証を行いつつ、全市での地域コミュニティ組織の設立を図っていきたいというふうに考えております。